

図書館整備基本計画第 1 章から第 3 章改定案の意見等

委員名

章	項目	意見・改定案
1	1 計画策定の目的 (5行目)	「それから 37 年が経過し、・・・」の数字は、「43」ではないかと思えます。
2	2 (3) ② 資料の特徴	4 の文章を以下のように書き直す。 「旧彦根藩関連資料をはじめ、井伊家の養育係を務めた高橋氏玩具コレクションなど多岐にわたり、永久に残していく資料があります。」 そして、3 と 4 の文章番号を付け替え入れ替える (理由：「① 所蔵する歴史・郷土資料」で表示された順番に合わせるため) 6 の「雑誌は、・・・」の記述の意味が分りづらい
2	3 彦根市図書館の抱える課題 (3) 図書・資料	多くの貴重な郷土資料群を有する点が本館の特長であるので、(3) 図書・資料 の記述を分けて、(4) 資料 として下3行を以下のように書き、課題として陽に記述する； 「(4) 資料 現在、システム登録で運用している以外のもに古文書、郷土・行政資料、明治・大正・昭和初期資料、舟橋聖一記念文庫資料などの約30万点を超える歴史・郷土資料があり、別に冊子目録を作成して運用しています。その他、図書館蔵書数として数えていない新聞や雑誌・官報などがあります。 <u>これらは彦根市立図書館を特長づけるたいへん貴重な歴史・郷土資料であり、これらを未来に確実に継承していくためには保存環境の物理的な整備が喫緊の課題となっています。</u> 」
<p>彦根市立図書館を特長づけている歴史・郷土資料群は唯一無二の存在であり、その劣化は何かあっても防止せねばなりません。このままではいずれ復元不可能となります。それゆえ、先人がこれまで収集されてきた貴重な歴史・郷土資料群を保存するのに適した(物理的な)整備が喫緊の課題であることを明文化しておく必要があると考えます。</p>		